



平成 22 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 ディナベック株式会社
代表者氏名 代表取締役社長 長谷川 護
本社所在地 茨城県つくば市大久保6番
問 合 せ 先 取締役管理部長 谷田洋平
電 話 番 号 029-877-5155(代表)

中国製薬企業との網膜色素変性症治療製剤の技術導出に関する契約締結のお知らせ

ディナベック株式会社(本社:茨城県つくば市、代表取締役社長:長谷川 護、以下「当社」という)は、この度中国の北京三諾佳邑生物技術有限公司(本社:中国北京市、代表取締役社長:周 志文、以下「三諾佳邑社」という)と、サル免疫不全ウイルスベクターを用いた中国国内における網膜色素変性症遺伝子治療製剤の技術に関するライセンス契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本技術は、当社が、アフリカミドリザルから分離されたその自然宿主にも病原性がないサル免疫不全ウイルス(Simian immunodeficiency virus、SIV)のSIVagm株を基にし、その臨床応用安全性が最も高いといわれる第3世代レンチウイルスベクターと同等性を有するSIVベクターを用いた、網膜色素変性症という慢性難治性眼病を適応症とする治療薬の開発に関するものです。本製剤は、上述のSIVベクターに、色素上皮由来因子(Pigment epithelium-derived factor、PEDF)遺伝子を搭載したもので、当社と九州大学が共同で行った効能試験ならび安全性試験において、マウス・ラットの網膜色素変性症動物モデルにおいて、視細胞の脱落を長期にわたり効果的に抑制することが明らかになりました。

当社は、本製剤の開発と製造に関わる技術を三諾佳邑社に提供し、同社がその技術に基づき中国国内において製品の開発と製造・販売を行います。本契約により、当社は三諾佳邑社から契約金を受け取ります。この度のライセンス契約の締結は、当社プラットフォーム技術の一つであるSIVベクターの医薬品開発への応用に対する新たな展開となり、日本発の技術として網膜色素変性症患者のQOL(生活の質)の改善に貢献する重要なアプローチになると期待されます。

会社概要

北京三諾佳邑生物技術有限公司

設立:2002年5月29日

代表者:周 志文 (Zhou zhiwen)

本社所在地:中国北京市經濟技術開發区栄京東街5号

従業員数:23人

施設内容:医薬品関連技術の研究開発と導出、技術提供サービスおよびその他

ダイナベック株式会社

設立:2003年9月5日

資本金:20億円

代表者:代表取締役社長 長谷川 護(はせがわ まもる)

本社所在地:〒300-2611 茨城県つくば市大久保6番 テクノパーク大穂

従業員数:25名(2010年10月21日現在)

事業内容:遺伝子医薬品、抗体医薬、細胞・再生医療、バイオ製品の研究開発と販売等

<ご参考>

1. サル免疫不全ウイルスベクター (Simian Immunodeficiency Virus、SIV)

SIV ベクターは、レンチウイルスに分類され、その自然宿主であるアメリカドリザルにも病原性がない SIVagm 株を改変して開発したウイルスベクターです。神経細胞などの細胞分裂していない静止期の細胞に対しても、高い遺伝子導入能力を有し、長期にわたって搭載遺伝子の発現が可能です。

2. 色素上皮由来因子 (Pigment epithelium-derived factor、PEDF)

PEDF は、網膜色素上皮細胞などから豊富に産生され、強力な血管新生抑制機能を持つ神経保護因子の一つで、視細胞を細胞死から保護することによりその脱落を阻止して、視力の低下を防ぐことができると言われています。糖尿病性網膜症と加齢黄斑変性症では重要な阻止因子と考えられ、アメリカでは PEDF 遺伝子を用いた加齢黄斑変性症への臨床試験が行われ、これまでにその副作用に関する報告はありません。

3. 網膜色素変性症

網膜色素変性症は、光を感知する網膜に存在する視細胞が徐々に失われていく難治性疾患で、進行性失明の三大原因の一つです。3,000～5,000 に一人の頻度で見られ、青年期から発症して夜盲や視野狭窄をきたす遺伝性の疾患です。白内障や緑内障を併発しやすいとも知られ、現在は有効な治療法がなく、厚生労働省より特定疾患として指定されています。

以上